

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 27 年 11 月 1 日	
所属部局・職	再生医科学研究所・修士課程 1 年生
氏名	田中雄大

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)
日本 鹿児島県熊毛郡屋久島町
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)
屋久島実習 2015 年秋 フィールド科学実習 (植物班)
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)
平成 27 年 10 月 18 日 ~ 平成 27 年 10 月 24 日 (7 日間)
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
香川大学教授 篠原渉博士、京都大学教授 工藤洋博士
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>本実習の目的は、屋久島において野生生物の生態と行動を研究するための基礎的な手法を学ぶことであった。海外からの若手研究者と京都大学の大学院生が参加し、英語を公用語として行われた。参加者はシカ班か植物班のいずれかに所属し、それぞれに分かれて研究を行った。</p> <p>私は植物班に所属し、屋久島におけるシダ植物の種分布を調べるために、シダ植物の採集を行った。シダ植物はその生活環において一倍体である前葉体と二倍体である孢子体という二形態をとる。しかし、屋久島におけるシダ植物の前葉体と孢子体の種分布が地点と季節で変化するのか、ということは不明である。そこで、我々は屋久島の複数の地点でシダ植物の孢子体と前葉体を採集し、地点ごとの種の分布を調べた。その結果、地点ごとの種分布の特徴、例えば、各地点に共通または固有の種などが明らかになった。これらの結果は、続くゲノム科学実習での解析結果と併せて 11 月 5 日に開かれる発表会で報告する予定である。</p> <p>実習の日程は以下の通りである。</p> <p>10 月 18 日 (日) 屋久島へ移動。本実習の研究計画の確認。 10 月 19 日 (月) 宮之浦川沿いの 3 地点でサンプル採集 10 月 20 日 (火) 女川沿いの 2 地点でサンプル採集 10 月 21 日 (水) 花揚川沿いの 1 地点でサンプル採集 10 月 22 日 (木) サンプル処理、データ解析、発表準備 10 月 23 日 (金) 班ごとに成果発表 10 月 24 日 (土) 屋久島から帰宅</p> <p>詳細な方法は以下の通りである。</p> <p>シダ植物の孢子体と前葉体を宮之浦川沿いの 3 地点、女川沿いの 2 地点、花揚川沿いの 1 地点にてランダムサンプリング法で採集した。採集したサンプルを、孢子体については図鑑の写真と記述をもとに種を同定し、前葉体についてはハート型 (cordiform) とリボン型 (non-cordiform) という形態的特徴に基づいて分類を行った。孢子体については同定した種名をもとに、前葉体についてはハートもしくはリボン型の分類結果をもとに、地点ごとに分布の特徴が見られるのかという観点で分析を行った。採集したサンプルは、続くゲノム科学実習での解析のために京都に郵送した。</p> <p>本実習では、多くの外国人や研究分野が私と異なる人と生活を共にし、英語で会話を交わした。彼らとの会話を通じて、自分の研究分野外の知識、実験手法、思考法を吸収でき、英会話能力の向上を実感できた。これらの体験やフィールドワークは自分の研究分野だけでは味わえないものであり、確実に自分の成長の糧となる内容であった。</p>
<平成 26 年 5 月 28 日制定版> 提出先: <a href="mailto:report@wildlife-science.org">report@wildlife-science.org</a>

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)



シダ植物の孢子体



シダ植物の前葉体 (右) と孢子体 (左)



ランダムサンプリングのようす



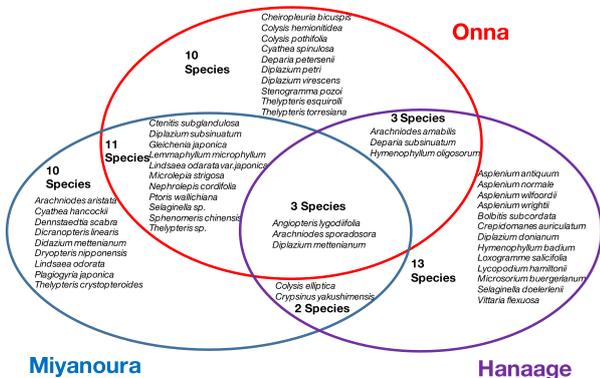
宮之浦川



打ち上げの BBQ



白谷雲水峡



地点ごとのシダ植物の分布



植物班の集合写真

6. その他 (特記事項など)

本実習は PWS リーディング大学院の援助を受けて行われました。実習をサポートしていただいた PWS スタッフの皆様、実習の統率をしていただいた先生方、生活をともにした参加者の皆様、そして、植物班の皆様にご深く感謝いたします。